

男女総合、北海道に逆転V

スピード少年勢活躍光る

国体スケート総評

第74回国体冬季大会スケート、アイスホッケー競技会（1月30日〜2月3日・北海道釧路市）の県勢は、スケート競技の男女総合（天皇杯得点）で4年連続7度目、女子総合（皇后杯得点）で4年連続18度目の優勝を果たした。第4日まで男女総合でトップの北海道に21点差をつけられていたが、最終日は6種目で優勝する大活躍で逆転。最終的に地元開催の北海道に19点差をつけた。

【スピード】

少年勢の活躍が光った。男子は1方だけで三井晃太（東京都大塩尻高）と松本一成（諏訪実高）が1、2位を独占。5000㍍は松本、10000㍍は大門飛路（岡谷東高）が制し、計3種目で優勝した。1500㍍以外は複数入賞を果たし、昨年より10点多い57点を獲得した。45点の女子は、東海大諏訪高の両角ほかと福岡歩里が健闘。ともに優

せてほしい。一方、大学生だけで臨んだ成年は不振。男子1000㍍で小島良太（信州大）が優勝したものの、個人種目の入賞は男女とも1人だけ。ワールドカ

【ショートトラック】成年女子3000㍍リレーは山浦美和子（佐久大）と小池佑奈（中京大）を軸に圧勝し、4連覇を達成。山浦は500㍍、

【アイスホッケー】成年は、5位に入った栃木に2回戦で逆転負けし、昨年に続く入賞を逃した。インターハイで6年ぶりに8強入りした軽井沢高主体の少年は、準々決勝で栃木に0-1の惜敗。その後の順位決定戦で踏ん張れなかったのが誤算で、滋賀、神奈川に逆転負けして8位に終わった。終盤まで落ちない運動量を鍛え、安定して上位に入れる力を養ってほしい。

いたとはいえず、ふがいない結果だった。

1000㍍の2種目で2位、小池は1000㍍で3位と健闘した。少年男子の小池克典（岡谷南高）は2年連続の2冠を逃したものの、2種目とも2位。世界ジュニア選手権（カナダ）から帰国直後の試合で結果を残した。同じく同選手権に出場した少年女子の篠原理沙（小海高）も500㍍で2位に入り、面目を保った。

成年は、5位に入った栃木に2回戦で逆転負けし、昨年に続く入賞を逃した。インターハイで6年ぶりに8強入りした軽井沢高主体の少年は、準々決勝で栃木に0-1の惜敗。その後の順位決定戦で踏ん張れなかったのが誤算で、滋賀、神奈川に逆転負けして8位に終わった。終盤まで落ちない運動量を鍛え、安定して上位に入れる力を養ってほしい。

県勢入賞者

◇スピード

【成年男子】

- ▽1000㍍
- ①小島良太（信州大）
- ▽2000㍍リレー
- ⑤県選抜

【成年女子】

- ▽3000㍍
- ⑤賀来真穂（大東大）

【少年男子】

- ▽500㍍
- ④菊池岳仁（岡谷南高）
- ⑥油井威一郎（市長野高）

▽1000㍍

- ①大門飛路（岡谷東高）
- ⑥菊池岳仁（岡谷南高）

▽1500㍍

- ⑤伊藤誠悟（屋代高）

▽5000㍍

- ①松本一成（諏訪実高）
- ④伊藤誠悟（屋代高）

▽1万㍍

- ①三井晃太（都市大塩尻高）
- ②松本一成（諏訪実高）

▽2000㍍リレー

③県選抜

【少年女子】

▽500㍍

- ③両角ほか（東海大諏訪高）
- ⑦高橋莉子（小海高）

▽1000㍍

- ①両角ほか（東海大諏訪高）

▽1500㍍

- ②福岡歩里（東海大諏訪高）

▽3000㍍

- ①福岡歩里（東海大諏訪高）
- ②百瀬愛美（岡谷東高）

▽2000㍍リレー

②県選抜

◇ショートトラック

【成年男子】

▽5000㍍リレー

⑦県選抜

【成年女子】

▽500㍍

- ②山浦美和子（佐久大）
- ④小池佑奈（中京大）

▽1000㍍

- ②山浦美和子（佐久大）
- ③小池佑奈（中京大）

▽3000㍍リレー

①県選抜

【少年男子】

▽500㍍

- ②小池克典（岡谷南高）
- ⑥林伊吹（地球環境高）

▽1000㍍

- ②小池克典（岡谷南高）
- ④林伊吹（地球環境高）

【少年女子】

▽500㍍

- ②篠原理沙（小海高）

▽1000㍍

- ⑥篠原理沙（小海高）

◇アイスホッケー

【少年】

⑧県選抜